資料2－2

食品中に含まれる放射性物質に関する リスクコミュニケーションについて①

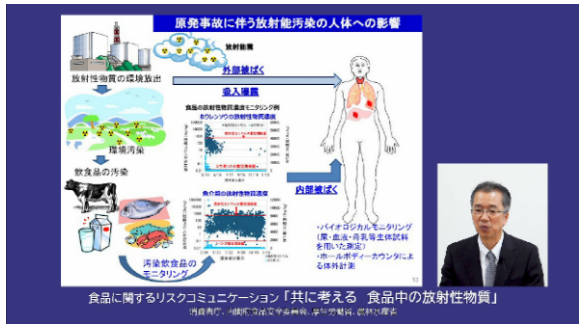
令和3年8月20日（金）
内閣府　食品安全委員会
事務局　資料

１．具体的な取り組み状況（平成31年４月～令和３年７月末）

①関係府省と連携した親子参加型イベント・セミナー等の開催

令和元年度は親子参加型イベントに出展、その中で小学生とその保護者に対し、食品中の放射性物質に関するセミナー等を実施。
（令和元年度　7/25京都府、8/1東京都、8/10宮城県）

令和２年度は親子で学べる特設ホームページを公開し、食品中の放射性物質を学ぶ動画と食品安全クイズコンテンツを配信。
（令和２年度　12/21配信開始）



②関係府省と連携した消費者との意見交換会の開催

令和元年度は一般消費者を対象に、『食品に関するリスクコミュニケーション「これまでを知り、これからを考える～食品中の放射性物質～」』をテーマに実施。
（令和元年度　10/21宮城、11/8福岡、11/22京都、11/27東京）

令和２年度は『食品に関するリスクコミュニケーション「共に考える食品中の放射性物質」』をテーマに、ウェブ会議システムやオンデマンド授業、動画配信により実施。
（令和２年度　11/6滋賀、12月東京、3/1～全国配信）

★意見交換会での感想

- 食品中の放射性物質に対する認識が180度変わった
- 生産者が努力している／新しいことにチャレンジしていることが分かった
- 生産者の努力によって、現在の安全が確保されていることが分かった／
- そのことを全国民が知っておかなければならないと思った
- 放射線をやみくもに怖がるのではなく、正しい知識をもって科学的な根拠によって自分で考えていくことが重要だと感じた

２．今後の取り組みについて

各意見交換会において経済産業省とも連携し、ALPS処理水についての情報提供を積極的に行っていく。